

平成 24 年 4 月 17 日



**がんばろう！東北**

国営みちのく杜の湖畔公園  
Michinoku Lakewood N.G.P

NEWS  
RELEASE

東日本復興支援プロジェクト“花譜

## スイセン見頃！

## 復興への願いを乗せフェニックス はばたく！

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、復興支援活動の一環で、昨年 11 月 18 日に東日本復興に向けたメッセージとして、2 万球のスイセンを植栽し、全長 64m、総延長 500m の「フェニックス（不死鳥）」の地上絵を示そうというプロジェクトを実施しました。寒波の影響により生育が大幅に遅れましたが、**早咲きの品種が見頃**となり、震災復興の希望の象徴としてスイセンの花で描いた黄色い「フェニックス」が浮かび上がっておりますのでお知らせいたします。地上絵を描いた花木園には 1.8m の物見台を設置いたしましたので、フェニックスを俯瞰的にご覧いただけます。

平成 24 年 4 月 15 日撮影（高さ 1.8m の物見台より）



ニュースリリース配信先：宮城県政記者クラブ・仙台市政記者クラブ・東北電力記者クラブ・仙南記者クラブ  
山形県政記者クラブ・山形市政記者クラブ・福島県政記者クラブ・福島市政記者クラブ

お問い合わせ先 〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9

公園整備内容については

花譜プロジェクトについては

国土交通省東北地方整備局  
国営みちのく杜の湖畔公園事務所(担当/渋谷)  
TEL:0224-84-6211

一般財団法人公園財団みちのく公園管理センター  
(担当/平塚・清島)  
TEL:0224-84-5991 FAX:0224-84-5992

ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/m-park/> “みちのく公園”で検索

## スイセンの開花状況

東日本大震災復興のメッセージとして、フェニックス（不死鳥）を模り、平成23年11月18日に植栽した2万球のスイセン（花譜プロジェクト）は、1月から続いていた寒波の影響により、生育が大幅に遅れておりました。

4月に入り暖かくなってきたことから、4日よりラインベルトアーリーセンセーション（大輪・黄系）という品種のスイセンが開花を始め、16日現在、見頃となっております。続いてテータテート（小輪・黄系）、アイスフォーリス（大輪・白系）も開花を始めました。植栽したスイセンは5品種で花期に若干のズレがありますが、現在、全ラインでラインベルトアーリーセンセーションが見頃となっており、黄色いフェニックスがはばたいております。スイセンの開花期間は約2週間であるため、見頃の期間は4月下旬まで続く予想です。

また、スイセンが広がる目の前に1.8mの物見台を設置いたしましたので、フェニックスを俯瞰的にご覧いただけます。（なお、報道関係者の方へは、**4月20日（金）10時～15時に、地上約10m上空より撮影できる高所作業車をご用意しております。**）



高さ1.8mの物見台



4月15日撮影（目の周り）



4月15日撮影（高さ1.8mの物見台より）



ラインベルトアーリーセンセーション（見頃）



テータテート（咲き始め）



アイスフォーリス（咲き始め）

## スイセンで復活する地上絵:「花譜プロジェクト」の概要

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災後、天皇皇后両陛下が被災地を訪問された時、皇后陛下は皇居で摘まれたスイセンを手向けられました。今回の東日本大震災の被災地を訪問された時は、被災者が皇后陛下にスイセンをプレゼントするということがありました。

この「希望の象徴」ともいえるスイセンの球根を、東北地方で唯一の国営公園「国営みちのく杜の湖畔公園」の南地区にある花木園において、震災から1年後、スイセンの花となって復活してほしいという願いを込めて、亡くなられた方および行方不明の方2万人のために約2万球のスイセンの球根をフェニックス（不死鳥）の形に植栽しました（平成23年11月18日）。

このプロジェクトは、この大震災の記憶と共に、自然と共存することの大切さや厳しさを改めて感じることが大切だと考え、「Harmony with Nature for the Future」から「HaNaFu:花譜（はなふ）」と命名しました。」



- ①ラインベルトアーリーセンセーション(黄): 7,500球
- ②ヤングスター(黄): 5,500球
- ③テータテート(黄): 2,000球
- ④アイスフォーリス(白): 2,500球
- ⑤セルマラゲロフ(白): 2,500球

計 20,000球



スイセンで描く地上絵配置図（フェニックス）

## スイセンで復活する地上絵：スイセン植栽状況



植栽状況(10m上空より撮影)



植栽状況(地上撮影)



参加者の記念撮影

植栽日時：平成23年11月18日(金) 13:00~15:30

植栽場所：国営みちのく杜の湖畔公園 南地区 花木園

主催：財団法人公園緑地管理財団

当日参加者：125名

概要：

復興支援活動の一環で、11月18日に国営みちのく杜の湖畔公園花木園を会場として「スイセンで復興を願うプロジェクト“花譜”」の活動を実施しました。このプロジェクトは東日本復興に向けたメッセージとして、2万球のスイセンで全長64mのフェニックス(不死鳥)の地上絵を描こうというものであり、“Harmony with Nature for the Future”から「HaNaFu:花譜(はなふ)」と命名されました。当日は、JTBツアー参加者、東京観光専門学生、川崎町ボランティア等125名の方にスイセンの植付を協力していただきました。

## その他の花情報

4月14日から5月6日まで『花のフェスティバル 2012』を開催しているみちのく公園では、スイセンのほか、たくさんの花が春色を添えようとしています。

これから、開花を迎える花は、今後の天候状況にも大きく左右されるため、見頃状況についてはHPでご案内するとともに、改めてリリースをさせていただきます。

### 【ウメ】

ようやく咲き、甘い香りを漂わせています。一部で見頃ですが、全体的に3部~5分咲き程度となっております。



### 【サクラ】

つぼみが日に日に大きくなってきています。ソメイヨシノは4月20日頃に開花、1週間ほどで見頃となる予想です。



### 【チューリップ・パンジー・ビオラ】

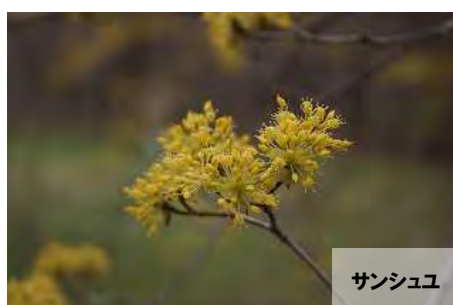
パンジー・ビオラについては、徐々に株が生長し、花付きが良くなってきています。

チューリップは、ゴールデンウィークに見頃を迎える準備で葉が生長しているところです。



### 【現在見頃の花】

クリスマスローズ、サンシュユ、カタクリ、ユキワリソウ、サクラソウなど、様々なお花が見頃となっております。



## みちのく公園基本情報

釜房ダムの湖畔にある国営みちのく杜の湖畔公園は、豊かな水と緑に囲まれた蔵王連峰を望む公園で、仙台市・山形市・福島市より1時間圏内に位置する東北唯一の国営公園として、現在約321.9haが開園しています（計画面積約647ha）。

南地区には、季節ごとに数万株の色鮮やかな花々が咲く「彩のひろば」や子どもたちに人気の遊具がそろった「わらすこひろば」、8.5haの広大な芝生広場「湖畔のひろば」などがあります。「湖畔のひろば」では、無料で貸し出しされている遊具で遊んだり、釜房湖を貸ボート（有料・3月～11月）で周遊することができます。ほかにも、園内には東北6県の代表的な古民家を移築した「ふるさと村」があり、展示物や映像機器をとおして、昔の生活などを学習することもできます（震災の影響で一部閉鎖中）。

また北地区には、広大な風の草原があり、ノルディックウォーキングやグラウンド・ゴルフなど各種スポーツ体験も楽しむことができます。7月16日より追加開園した自然共生園（16.8ha）では、みちのくの美しい里地里山の環境と景観の再生をテーマに、協働農園の育成や自然再生活動を行い、環境共生や資源循環について学ぶことができます。

### ○入園料金（団体は小学生以上の入園者20人以上）

	一般	団体	年間パスポート券利用
大人（15歳以上）	400円	280円	4,000円
シルバー（65歳以上）	200円	—	2,000円
小人（小・中学生）	80円	50円	800円

### ○駐車料金（1回）

車種	料金
大型（30人乗以上）	1,000円
普通	300円
二輪	100円

### ○アクセスと駐車台数等

開園時間：9：30～16：00（11/1～2月末）

休園日：毎週火曜日

※4・5月、イベント期間中は無休です。

駐車台数：約1,400台

アクセス：山形自動車道 宮城川崎ICより約5分